



認知症高齢者の徘徊に関する調査研究に着手

(厚生労働科学特別研究事業)

平成 26 年 7 月 14 日

独立行政法人国立長寿医療研究センター（総長：鳥羽研二）は、厚生労働省の厚生労働科学特別研究事業として、認知症高齢者の徘徊に関する調査研究を開始しました。（研究班長：鈴木隆雄研究所長）

人口の高齢化の進行とともに認知症高齢者は増加し、最近の研究によれば、軽症者を含めた日本の65歳以上高齢者の認知症有病率は15%、平成24年時点で462万人、軽度認知障害（Mild Cognitive Impairment: MCI）は13%、400万人と推計された。

認知症における徘徊の問題は、今後認知症の人が住み慣れた環境で暮らし続けられる社会を目指す上で、極めて重要な問題である一方で、徘徊に関する実態の把握は十分になされていない。

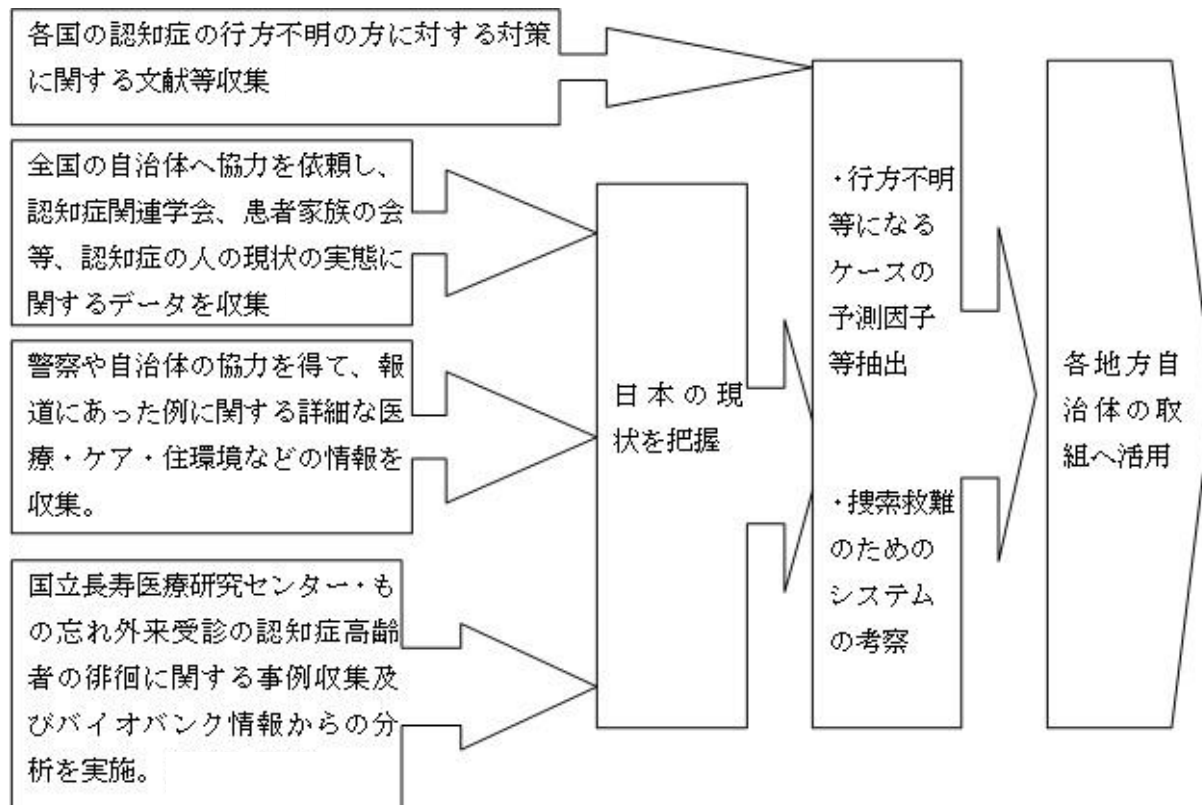
本研究では、自治体等関係者へのアンケートを通して、我が国における認知症高齢者の徘徊に係る現状を把握するとともに、個別例についての詳細な検討、例えば身元が特定され、無事に住み慣れた環境へ帰ることができた方とそれがなされなかった、あるいは不幸にも亡くなられた例との比較検討を行うことで、徘徊の発生や、徘徊の転帰を予測できるような要因の抽出を行うことなどを目的としている。また、海外における捜索・救助プログラム等についても調査する予定としている。

本研究では、（独）国立長寿医療研究センターに加え、国立保健医療科学院、地方独立行政法人東京都健康長寿医療研究センターの研究者の参加を得て、また多くの関係者の協力の下、以下の課題に取り組むこととしている。

- 1) 認知症高齢者の徘徊とその転帰に関する国内外の文献収集
- 2) 認知症高齢者の徘徊と防止するための国内外の先進事例収集
- 3) 認知症高齢者の徘徊とその転帰に関する実態調査
- 4) 国立長寿医療研究センターもの忘れ外来受診の認知症高齢者（とその家族）の case-control研究による徘徊の要因や発見状況についての分析

なお、本年度中に結果のとりまとめを行う予定としている。

(参考)



【リリースの内容・研究に関するお問い合わせ】

研究所長 鈴木隆雄

電話：0562-46-2311（代表）内線：5001 E-mail：suzutaka@ncgg.go.jp

【報道対応】 総務部総務課

電話：0562-46-2311（代表） E-mail：webadmin@ncgg.go.jp

サポート医養成研修

認知症にかかる地域医療体制構築の中核的な役割を担う「認知症サポート医」の養成

ア) 認知症サポート医養成研修 年5回 東京（2回）名古屋 大阪 福岡で開催。

22年度 5回 修了者404名

23年度 5回 修了者472名

24年度 5回 修了者531名

25年度 5回 修了者552名

開始してからの累計は**3,232名**となった。

イ) 認知症サポート医ネットワークポータルサイトの運用

平成23年4月より認知症サポート医ネットワークポータルサイトの運用を開始

サポート医の研修後フォローアップ、連携を支援

ログインパスワード発行件数 1,467件

24年度新規発行数319件

25年度新規発行数181件

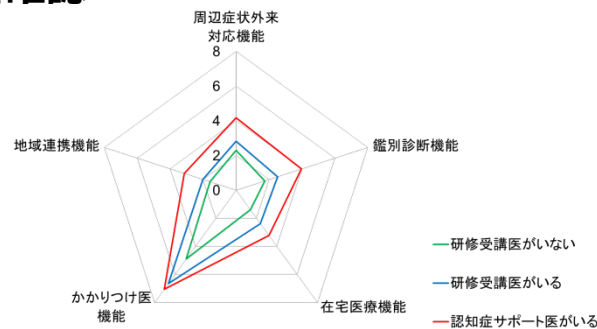


毎年400名程度養成 4000名をめざす

研修でのグループ討議



ウ) サポート医養成研修事業の有用性を確認



エ) サポート医研修について世界に発信

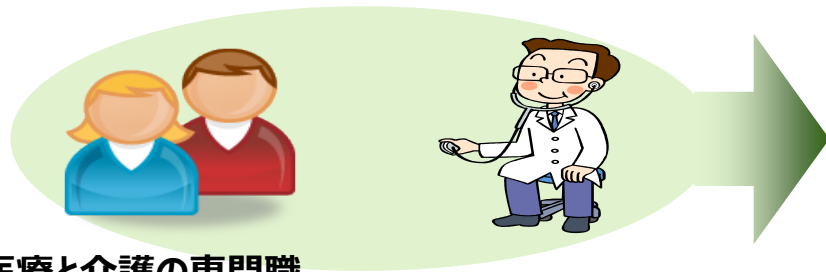


Geriatr Gerontol Int 2014
14(Suppl.2):11-16

認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が家族の訴え等により
認知症が疑われる人や認知症の人及び
その家族を訪問し、アセスメント、家族
支援等の**初期の支援を包括的・集中的**
(おおむね6ヶ月)に行い、自立生活の
サポートを行うチーム

認知症初期集中支援チームのメンバー



医療と介護の専門職

(保健師、看護師、作業療法士、
精神保健福祉士、社会福祉士、
介護福祉士等)

専門医

(認知症サポート医嘱託可)

配置場所 地域包括支援センター等

診療所、病院、認知症疾患医療センター、市町村の本庁

【対象者】

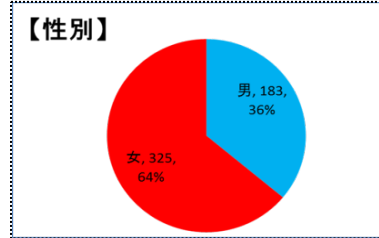
40歳以上で、在宅で生活しており、かつ
認知症が疑われる人又は認知症の人で
以下のいずれかの基準に該当する人

- ◆ 医療・介護サービスを受けていない人、
または中断している人で以下のいずれかに
該当する人
 - (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
 - (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない人
 - (エ) 診断されたが介護サービスが中断している人
- ◆ 医療・介護サービスを受けているが
認知症の行動・心理症状が顕著なため、
対応に苦慮している

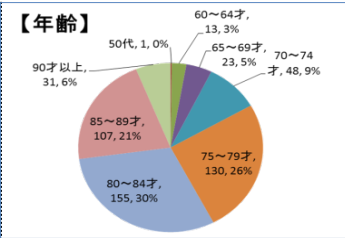
認知症初期集中支援チーム モデル事業の成果

平成24年度 3か所
 平成25年度 14か所
 地域包括 7、市役所 2、病院 2、
 診療所 2、認知症疾患医療センター 1
 訪問事例 508

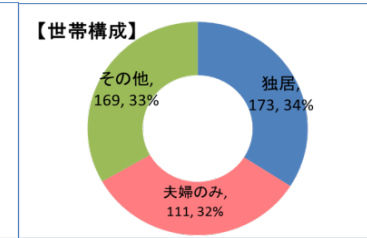
64%が女性



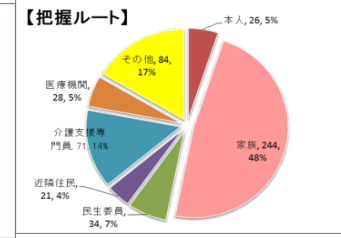
83%が75歳以上



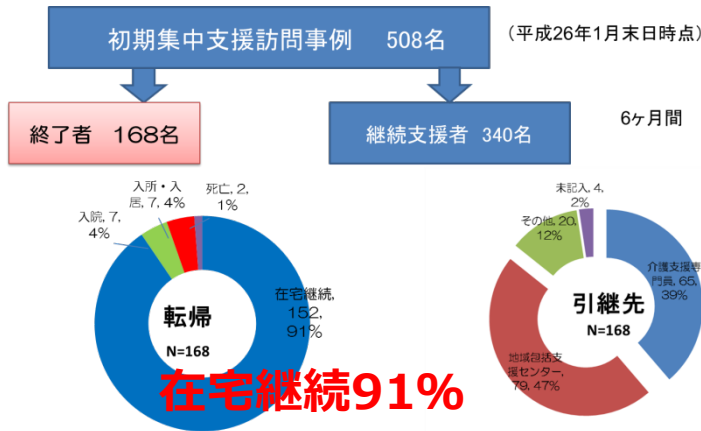
34%が独居



49%が家族から



介入による転帰



訪問回数	回数		
平均	3.4 回 (前回3.36 回)		
最大値	21 回		
最小値	1 回		
	平均日数 (前回)	最小値	最大値
把握から初回訪問までの日数	16.9 (13.4)	0	105
初回訪問から引き継ぎまでの日数	52.5 (36.8)	0	204
把握から終了までの日数	72.7 (54.0)	0	262
初回訪問から終了まで	58.4 (40.6)	0	176

導入時 介護保険未利用60%、
 認知症医療未利用85%
 終了時 介護保険利用56%、
 認知症診断 60%



長寿医療研究開発費26-15
「認知症に係わる医療および
介護従事者の研修状況の
把握と公開に関する研究」

この研究の目的

多職種、多様な認知症に関連する団体の認知症研修の実態を調査し、可能な限り公開、可視化をめざす。

この研究の必要性

多職種連携が求められるなかで、他の職種や団体がどのような研修を行い、質の向上に努めているかを知ることは重要であり、また自らの向上にも寄与することは明らかである。

特色・独創的な点

医療介護の広範な領域を調査した報告はない。
またこのような内容のサイトも存在しない。

期待される成果

各職種団体の研修内容が明らかになり開示されることにより、研修の質の向上と情報交換が期待される。
さらに広く国民に対しても開示することで、国民への啓発、理解を得ることが期待できる。

医療・介護関係団体への認知症関連研修に関するアンケート調査（案）

1 目的

- 厚労省の推進するオレンジプランを背景に人材育成・質の向上が急務とされている
 - 専門職を対象とした認知症研修は、目的、対象、範囲、内容、水準等において多種多様を極める
 - 各研修が一定の成果を挙げているが、内容の重複回避や修了の重みづけなど、体系的な整理の要請も高い
- ⇒ まずは、医療・介護の職能団体等が構成員を対象に実施している認知症研修について、同団体等に対するアンケートにより現状・実態を把握し、専門職が認知症研修を効率的・計画的に受けられ、同時に、一般からも修了した専門職を見つけ易くなるよう、情報整理を行うことを目的とする。

「認知症関連研修」の定義；以下に全てあてはまる研修を「認知症関連研修」とする

- ① 医療・介護専門職を対象とするもの
 - ② カリキュラムがあり、テキスト等の教材を使用して行われるもの
 - ③ 受講申込、受講証・修了証発行など一定のプロセスがあり、受講者を特定できるもの
 - ④ 団体が主催・共催している（後援は含まない）もの
 - ⑤ 下部組織（都道府県支部等）が主催して実施しているもの
- ※単発の講演会、不特定参加型のセミナーなどは、含めない

2 方法

- 2-1 調査対象 医療・介護に関する専門職団体（全国組織；別表参照）
- 2-2 調査方法 郵送アンケート
- 2-3 調査時期 平成 26 年 10 月 1 日現在（仮）
- 2-4 調査項目案

(1) 研修実施について

- ・実施の有無（都道府県組織での実施の実態を含む）
- ・研修名称
- ・開始時期（定期開催の場合、何年度から取り組んでいるか等）

(2) 研修内容について（実施研修ごと回答）

- ①概要
 - ・対象者（職種、人数）
 - ・研修形態（講義、演習、…）
 - ・日数および時間数（カリキュラム構成）
 - ・受講料の有無
 - ・国の基幹研修（かかりつけ医対応力向上研修、実践リーダー研修等）との関係
- ②研修内容（選択肢列挙の複数回答）

例； 病態特徴 BPSD 対応 薬剤 家族支援 多職種連携 …
- ③修了者
 - ・修了者の把握の有無・方法
 - ・継続研修の実施

(3) 資料提供のお願い

- ・研修案内や使用教材の提供のお願い

医療・介護関係団体への認知症関連研修に関するアンケート調査（案）

【調査目的】

厚労省の推進するオレンジプランを背景に人材育成・質の向上が急務とされています。現在、専門職を対象とした認知症研修は、目的、対象、範囲、内容、水準等において多種多様を極める状況にあり、各研修は、一定の成果を挙げているものの、一方で、内容の重複回避や修了の重みづけなど、体系的な整理の要請も高くなっています。

そこで、医療・介護の職能団体等が構成員を対象に実施している認知症研修について、同団体等に対するアンケートにより現状・実態を把握し、専門職が認知症研修を効率的・計画的に受けられ、同時に、一般からも修了した専門職を見つけ易くなるよう、情報整理を行うことを目的としています。

【このアンケートにおける“認知症関連研修”の定義】

以下に全てあてはまる研修を「認知症関連研修」と定義します。

- ① 医療・介護専門職を対象とするもの
 - ② カリキュラムがあり、テキスト等の教材を使用して行われるもの
 - ③ 受講申込、受講証・修了証発行など一定の手続きがあり、受講者を特定できるもの
 - ④ 団体が主催・共催している（後援は含まない）もの
- ※1 下部組織（都道府県協会・支部等）が主催して実施しているものを含みます
※2 単発の講演会、不特定参加型のセミナーなどは含めません

Q1 26年度、25年度に認知症関連研修を、貴団体で企画・実施したことがありますか。

- 1 ある 2 都道府県協会・支部等では実施している 3 ない

Q2 Q1で「1 ある」の場合、研修名と実施状況について、それぞれご回答ください。

	研修名	実施年度	
		26年度	25年度
1		() 回実施・予定	() 回実施
2		() 回実施・予定	() 回実施
3		() 回実施・予定	() 回実施
4		() 回実施・予定	() 回実施
5		() 回実施・予定	() 回実施

Q3 Q1で「2 都道府県協会・支部等では実施している」の場合、研修の具体的な内容を把握していますか。

- 1 把握している 2 把握していない

⇒ 「2 把握していない」場合、都道府県協会・支部等に確認することができますか。

- 1 アンケート等で確認できる 2 確認することは難しい 3 できない

4 研修の具体的な内容等について（研修ごとに回答下さい）

回答番号	1（Q2の解答欄番号に合わせてください）
研修名	
主催(主体)	<input type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催 ⇒ <input type="checkbox"/> 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 学会（ ） <input type="checkbox"/> 他の職能団体（ ） <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 都道府県協会・支部等が主催 <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象職種 ※ 特別の限定（勤務 ○年以上、在宅医 療・ケア従事、など） があれば記入して下 さい	<input type="checkbox"/> 医師（ ） <input type="checkbox"/> 歯科医師（ ） <input type="checkbox"/> 薬剤師（ ） <input type="checkbox"/> 看護師（ ） <input type="checkbox"/> 理学療法士・作業療法士（ ） <input type="checkbox"/> 社会福祉士（ ） <input type="checkbox"/> 介護福祉士（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
開催回数	<input type="checkbox"/> H26年度（ ）回 ⇒ 10月以降実施予定（ ）回 <input type="checkbox"/> H25年度（ ）回 <input type="checkbox"/> H24年度以前（ ）回
実施形態（複数）	<input type="checkbox"/> 集合研修 <input type="checkbox"/> 通信（PC配信など） <input type="checkbox"/> その他（ ）
受講者数	直近で開催された研修1回の受講者数（ ）人 累計の受講者数（ ）人
カリキュラム構成	（ ）日間
	<input type="checkbox"/> 講義（ ）分 <input type="checkbox"/> 演習（ ）分 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研修に含まれる 内容（複数）	<input type="checkbox"/> 概念 <input type="checkbox"/> 病態 <input type="checkbox"/> BPSD <input type="checkbox"/> 薬剤 <input type="checkbox"/> 画像診断 <input type="checkbox"/> 家族支援 <input type="checkbox"/> 似ている精神・神経症状 <input type="checkbox"/> 特徴と対応 <input type="checkbox"/> 多職種連携 <input type="checkbox"/> 社会資源 <input type="checkbox"/> 介護サービス <input type="checkbox"/> 制度や施策 <input type="checkbox"/> 成年後見・人権擁護 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
受講料	<input type="checkbox"/> あり（ ）円 <input type="checkbox"/> なし
修了者の把握	<input type="checkbox"/> 把握できている <input type="checkbox"/> 受講時のみ把握 <input type="checkbox"/> 把握していない
修了者に対する 継続研修の実施	<input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> その他（ ）
教材の提供	<input type="checkbox"/> できる ⇒ 添付して下さい <input type="checkbox"/> できない

4 研修の具体的な内容等について（研修ごとに回答下さい）

回答番号	1（Q2の解答欄番号に合わせてください）
研修名	かかりつけ医認知症対応力向上研修
主催(主体)	<input type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催 ⇒ <input type="checkbox"/> 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 学会（ ） <input type="checkbox"/> 他の職能団体（ ） <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 都道府県協会・支部等が主催 <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象職種 ※ 特別の限定（勤務 ○年以上、在宅医 療・ケア従事、など） があれば記入して下 さい	<input checked="" type="checkbox"/> 医師（ <input type="checkbox"/> 歯科医師（ <input type="checkbox"/> 薬剤師（ <input type="checkbox"/> 看護師（ <input type="checkbox"/> 理学療法士・作業療法士（ <input type="checkbox"/> 社会福祉士（ <input type="checkbox"/> 介護福祉士（ <input type="checkbox"/> その他（
開催回数	H26年度（ 3 ）回 ⇒ 10月以降実施予定（ 2 ）回 H25年度（ 3 ）回 H24年度以前（ ? ）回
実施形態（複数）	<input checked="" type="checkbox"/> 集合研修 <input type="checkbox"/> 通信（PC配信など） <input type="checkbox"/> その他（ ）
受講者数	直近で開催された研修1回の受講者数（ 70 ）人 累計の受講者数（ 480 ）人
カリキュラム構成	（ 2 ）日間
	<input checked="" type="checkbox"/> 講義（ 210 ）分 <input type="checkbox"/> 演習（ ）分 <input type="checkbox"/> その他（
研修に含まれる 内容（複数）	<input checked="" type="checkbox"/> 概念 <input checked="" type="checkbox"/> 病態 <input checked="" type="checkbox"/> BPSD <input checked="" type="checkbox"/> 薬剤 <input checked="" type="checkbox"/> 画像診断 <input checked="" type="checkbox"/> 家族支援 <input checked="" type="checkbox"/> 似ている精神・神経症状 <input checked="" type="checkbox"/> 特徴と対応 <input checked="" type="checkbox"/> 多職種連携 <input checked="" type="checkbox"/> 社会資源 <input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス <input checked="" type="checkbox"/> 制度や施策 <input checked="" type="checkbox"/> 成年後見・人権擁護 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
受講料	<input type="checkbox"/> あり（ ）円 <input checked="" type="checkbox"/> なし
修了者の把握	<input type="checkbox"/> 把握できている <input checked="" type="checkbox"/> 受講時のみ把握 <input type="checkbox"/> 把握していない
修了者に対する 継続研修の実施	<input type="checkbox"/> 実施している <input checked="" type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> その他（ ）
教材の提供	<input checked="" type="checkbox"/> できる ⇒ <u>添付送付をお願いします</u> <input type="checkbox"/> できない

認知症サミット日本主催レガシーイベントの運営

■趣 旨

世界的課題である認知症に対して、G8各国は昨年12月英国に集い認知症サミットを開催した。

今年度にはサミットの後継イベントとして、英国、加仏共同、日本、米国の順でそれぞれイベントが予定されている。

我が国では、これまでの施策の蓄積等から「ケアと予防の新たなモデル」をテーマとするイベントを担うこととした。

■日本主催レガシーイベントについて

テーマ	New Care and Prevention Models
主催・運営	厚生労働省、国立長寿医療研究センター
日 程	平成26年11月5日(水)～7日(金) 第1日 専門分科会 第2日 イベント本体 第3日 視察旅行（東京、愛知、京都）
会 場	東京都（六本木ヒルズ）

実行委員会

第1日目の専門分科会については、認知症医療会議推進会議を母体とする実行委員会を組織して実施



Global action against dementia

**FOCUSED TOPIC SESSION: FTS-01 at the
Alzheimer Association International Conference**

The Global Action Against Dementia Legacy Events- Towards an Integrated Follow-up Plan to the UK G8 Summit on Dementia

Date and Time: Tuesday, July 15, 2014 from 8:30 am - 10:00 am

Location: Hall A3, Bella Center A/S, Center Boulevard 5, DK-2300 Copenhagen

8:30-8:40	Introduction	Yves Joanette Scientific Director, CIHR Institute of Aging Executive Director, CIHR International Collaborative Research Strategy for Alzheimer's Disease
8:40-8:50	Follow up to the G8 Summit on Dementia – The Creation of the World Dementia Council and the Global Action Against Dementia	Dennis Gillings World Dementia Envoy
8:50-9:00	UK First Legacy Event Financial and Social Impact Investment	Dennis Gillings On behalf of the First UK Legacy Event Organizers
9:00-9:10	Canada-France Second Legacy Event Harnessing the Power of Discoveries: Maximizing Academia-Industry Synergies	Etienne Hirsch AVIESAN - Alliance nationale pour les sciences de la vie et de la santé - Institut Thématique Multi-Organismes neurosciences, sciences cognitives, neurologie, psychiatrie Yves Joanette CIHR Institute of Aging CIHR International Collaborative Research Strategy for Alzheimer's Disease



Global action against dementia

9:10-9:20	Japan Third Legacy Event New Care and Prevention Models	Kenji Toba National Center for Geriatrics and Gerontology
9:20-9:30	US Fourth Legacy Event Alzheimer's Disease Research Summit	Richard Hodes U.S. Dept. of Health & Human Services - National Institute of Health National Institute on Aging
9:30-9:40	Convergent Activities from the World Health Organization (WHO) and the Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD)	Yves Joannette On behalf of WHO and OECD
9:40-9:50	Scotland Associated Event Issues Related to Diagnosis and Quality of Care	Michelle Miller National Dementia Care Improvement Programme Directorate for Health Workforce and Performance Scottish Government
9:50-10:00	Discussion	All participants

病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

オレンジプランの一つに位置づけられており、2013年より各都道府県事業として開始されている。5年間で87000人の医療従事者の修了をめざしている。2013年には各都道府県、指定都市むけの講師役への伝達講習会が開始され、研修がスタートしている。今年も8月31日に伝達講習を予定しており、順次実施予定となっている。

また各日本看護協会や日本病院協会などの関係団体の研修も研修修了者が実施機関に届け出をして、研修を認める予定である。

実施要綱より

目的：

認知症の人や家族を支えるための必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性。認知症ケアの原則等の知識について、修得するための研修を実施し、病院での認知症の人の手術や処置等の適切な実施の確保を図ることを目的とする。

対象者：

病院で勤務する医師・看護師等の医療従事者

研修内容：

目的編。対応力編、連携編からなる

かかりつけ医および一般病院の医療従事者の認知症対応力向上研修に関する研究事業 報告（平成25年度 厚生労働省老人保健健康増進等事業）

III 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 研修班

1. 講師養成のための伝達講習会
2. カリキュラム・スライドの見直し
3. 研修実施形態等の検討

IV 研修テキスト（PPTスライド）

- i. かかりつけ医認知症対応力向上研修
- ii. 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

国立長寿医療研究センター

ホームページに認知症情報サイトを掲載し、一般、医療関係者向けに情報提供、学習プログラムを提示しました (<http://monowasure.org/ninchi/>)。

The screenshot shows the homepage of the National Center for Geriatrics and Gerontology's dementia information site. At the top left is the logo for the National Center for Geriatrics and Gerontology and the text '認知症情報サイト'. To the right is a search bar with a '検索' button and a '医療関係者ログインはこちら' link. Below the search bar are three navigation tabs: '一般の方' (General), '医療関係の方' (Medical Professionals), and '認知症疾患医療センターの方' (Dementia Disease Medical Center). The main banner features a colorful illustration of a rainbow, people, a boat, and a building. Below the banner is a navigation menu with '一般向の方向けTOP' and '一般向の方向けTOP'. The main content area is divided into several sections: a '新着情報一覧' (New Information List) with dates and titles, a 'ものわすれ教室' (Memory Loss Classroom) video player showing a man speaking, a '愛知県 認知症対応医療機関' (Aichi Prefecture Dementia Support Medical Institutions) map, and three informational cards: '国立長寿医療研究センターが提供する認知症領域の教育プログラム' (Education Program in the Field of Dementia Provided by the National Center for Geriatrics and Gerontology), 'お知らせ・公開講座、セミナー情報' (Notice, Public Lecture, Seminar Information), and 'よくある相談・Q&A' (Common Inquiries and Q&A).

貴方の認知症の知識は間違っていますか？ 認知症の正しい知識を勉強しましょう。思いがけない発見がきっとあります。

医療関係者ログインはこちら

検索
大 中 小

一般の方

医療関係の方

認知症疾患医療センターの方



医療関係者向けTOP > 医療関係者向けTOP

新規メンバー登録

認知症e-ラーニング受講者登録

お知らせ・研修・セミナー情報配信者登録



認知症e-ラーニング
認知症e-ラーニング

新着情報一覧 お知らせ 公開講座・セ

- 2014/06/30 「はじめよう！在宅医療 ～今、医療の現場は地域へ～」の動画を公開しました。
- 2014/06/27 よくある相談Q&Aの項目を追加しました。(2014/6/23)
- 2014/06/27 よくある相談Q&Aの項目を追加しました。(2014/6/18)
- 2014/05/27 第1回 認知症医療介護推進フォーラムの動画公開のお知らせ
- 2014/05/27 認知症初期集中支援チーム員研修のご案内のお知らせ



認知症 Q&A 医療関係者向け
認知症Q&A医療者向け



お知らせ・研修・セミナー情報
お知らせ・研修・セミナー情報



認知症サポート医養成
研修プログラム